



(1) 緑友ハーモニー25年度運営体制

幹事長: 小林 力 (5回生)

幹事楽譜係: 岡真理子 (14回生)

幹事会計係: 清水あつ子 (14回生)

パートリーダー: 矢島多恵子 (ソプラノ)、佐藤睦子 (アルト)

河野通久 (テナー)、上田昌紀 (バス)

(2) 今後の練習日程

|          |               |                        |
|----------|---------------|------------------------|
| 1月16日(金) | 13:00 ~ 15:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール   |
| 1月16日(金) | 15:30 ~ 16:30 | ミニ総会: 中央町社会教育館・102号研修室 |
| 1月23日(金) | 10:00 ~ 12:00 | 緑ヶ丘文化会館・レクホール(本館3階)    |
| 2月20日(金) | 13:00 ~ 15:00 | 緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)  |
| 2月27日(金) | 10:00 ~ 12:00 | 緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)  |
| 3月6日(金)  | 10:00 ~ 12:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール   |

|                   |               |                            |
|-------------------|---------------|----------------------------|
| 3月13日 (金)         | 13:00 ~ 15:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール       |
| <u>4月17日 (金)</u>  | 13:00 ~ 15:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール       |
| 4月24日 (金)         | 10:00 ~ 12:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール       |
| 5月8日 (金)          | 10:00 ~ 12:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール       |
| 5月22日 (金)         | 13:00 ~ 15:00 | 中央町社会教育館・レクリエーションホール       |
| 6月12日 (金)         |               |                            |
| <u>6月19日 (金)</u>  |               | メールでお送りした日にちから変わっています      |
| 7月10日 (金)         |               |                            |
| 7月24日 (金)         |               |                            |
| 8月7日 (金)          | お盆休み          |                            |
| 8月??日 (金)         |               |                            |
| 9月11日 (金)         |               |                            |
| <u>9月18日 (金)</u>  |               |                            |
| 10月9日 (金)         |               |                            |
| <u>10月16日 (金)</u> |               |                            |
| <u>10月30日 (金)</u> |               |                            |
| <u>11月6日 (金)</u>  |               |                            |
| 11月13日 (金)        |               |                            |
| <u>11月20日 (金)</u> |               |                            |
| 11月27日 (金)        | 午後            | コンサート 小山台会館3階大ホール          |
| 12月4日 (金)         | 11:30 ~ 14:00 | コンサート打ち上げ/クリスマス会 奥沢 NaKaMa |

註1: 表中下線の日は奇数週金曜日です。ご注意ください。

註2: 6月はメールでお伝えした第4金曜日が第3金曜日になっています。

註3: 今年もコンサートを小山台会館で開催します。

註4: 10月、11月はコンサートに備えて月3回の練習になります。

註5: 今年のクリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて12月第1金曜日に奥沢のイタリアン・レストラン NaKaMa で開催します。

### (3) ミニ総会

2026年1月16日は練習後ミニ総会を開催しました。議題は、1) 2025年度活動報告、2) 2025年度会計報告、3) 2026年度予算案、4) 2026年度新幹事承認で、みなさんの承認を得ました。

### (4) コンサートとクリスマス会

今年もコンサートを開催します。日時は11月27日午後、会場は昨年ミニコンサートを開催した小山台会館3階大ホールです。

クリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて、通常より1週間早めて12月の第1金曜日4日に奥沢のイタリアン・レストラン NaKaMa で開催します。

### (5) 新しい歌

ミニコンサートが終わり、今年から新しい歌の練習がはじまると思います。前回から新しい歌を導入するプロセスをが決められました。それは、ハーモニーのメンバーが歌いたい曲名を提出して、高島先生にお伝えし、先生が独自にお選びになった曲と合わせて、最終決定は先生にお任せする、というものです。ちなみに、ミニコンサートで歌った「美しく青きドナウ」はハーモニーのメンバーが希望した曲です。今回もそのプロセスを導入します。これまでに希望曲を提出されたのは住山さんと矢島さんだけです。他の方も奮ってご推奨ください。できるだけ早く歌いたい曲名をメールで小林までご提出ください。

### (6) 2月号のひまつぶし

第135回N響オーチャード定期

小林 力

1月11日は横浜みなとみらいホールへN響オーチャード定期を聴きに行った。曲目は、前半が、ベートーヴェンの「交響曲 第7番 イ長調 作品92」、後半が、ロッシーニの歌劇「どろぼうかかさぎ」序曲、バーバーの「弦楽のためのアダージョ」、ワーグナーの歌劇「ワルキューレの騎行」、J. シュトラウスのワルツ「美しく青きドナウ 作品314」。

「魅惑の映画音楽」と題する今回のシリーズでは、すべて映画に使われた曲が選ばれている。しかし、その中で私が観た映画は「美しく青きドナウ」をバックに宇宙船が無重力で優雅なワルツを踊るというシーンで使われた

「2001年宇宙の旅」くらいで、他は全く観ていない。したがって、今回のコンサートも単純に音楽だけについて語るしかない。

さて、ベートーヴェンの交響曲第7番だが、これはベートーヴェンの交響曲の中で私が最も好きな曲だ。1813年に完成したこの曲の初演はベートーヴェン自身の指揮だったという。しかし、1770年生まれのベートーヴェンは30歳になる前に持病の難聴が悪化、1810年ごろにはほぼ全聾となっていたので、果たしてまともな指揮ができたのか疑問が残る。多分頭の中でははっきりと音が鳴っていたのであろう。

堂々たる序奏ではじまる第1楽章にまず心を奪われる。ゆっくりとしたテンポでどこかメランコリックな第2楽章イ短調は実に美しい。この楽章は「Allegretto（少し速く）」となっているが、“Andante un poco Allegretto（歩く速さで少し快活に）”となっている楽譜もあり、ベートーヴェン自身が初演のときにAllegrettoよりも遅いテンポで指揮したという証言もある。私の知り限りこの楽章をAllegrettoで振る指揮者はいない。この楽章は葬送にも使われるくらいだからAndanteがふさわしいのではないか。第3楽章はテンポの早い軽快な3拍子だ。第4楽章は第1ヴァイオリンの主題の後コーダで圧倒的なf f fのクライマックスで幕を閉じる。

後半の中では、2曲目のバーバーと4曲目のJ. シュトラウスについて触れるに留めるよう。サミュエル・バーバーは20世紀のアメリカの作曲家だが、私は今回演奏された「弦楽のためのアダージョ」しか知らない。この曲はもともと弦楽四重奏曲の第2楽章を弦楽合奏に編曲したものであるとプログラム解説にある。哀しみを帯びた旋律がゆっくりと奏でられる実に美しい曲だ。

最後の曲J. シュトラウスの「美しく青きドナウ」はもともと合唱曲として作曲されたもので、私たちも緑友ハーモニーでも歌っている。パリの万博で演奏されたオーケストラ版が広く演奏されており、毎年ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートのアンコールで必ず演奏され、第二の国歌としてオーストリア国民に愛されている。私は今年のニューイヤー・コンサートもテレビで鑑賞したが、実に素晴らしかった。ちょっと横道に逸れるが、今年の指揮者ヤニック・ネゼ＝セガンは世界中の著名オーケストラに招かれて演奏する傍ら、2012年にはフィラデルフィア管弦楽団の音楽監督、2016年からはメトロポリタン歌劇場の音楽監督を兼務するという多忙な演奏活動を精力的にこなしている50歳の俊英だ。彼は暗譜の指揮者だ。今年のニューイヤー・コンサートでも、女性の作曲家の曲2曲を含めて半分がニューイヤー・コンサー

トでは演奏されたことがない曲目だったが、自信に溢れた堂々たる暗譜の指揮ぶりだった。

今回N響を指揮したトゥガン・ソヒエフは世界中の一流オーケストラに客演し、コンサートとオペラの両方で国際的に活躍する指揮者で、クレデンシャルに問題はないが、私に言わせれば、ヤニック・ネゼ＝セガンと比べるとかなり見劣りがする。せめて「ベートーヴェンの交響曲第7番」や「美しく青きドナウ」くらいは暗譜で振ってほしい。指揮の動作は派手だが、メリハリが効いていない。ウィーン・フィルと比較するのは酷かもしれないが。